2020年度業務実績報告書

提出日 2021 年 1 月 20 日

- 1. 職名・氏名 教授・平井 一芳
- 2. 学位 博士 (医学)、専門分野 公衆衛生学、授与機関 福井大学、授与年 2006年6月
- 3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習

①担当科目名(単位数) 主たる配当年次等 臨床栄養学(2単位)2年生 オムニバス講義

②内容・ねらい

食物の摂取から消化、吸収、体内での代謝にいたる栄養学の生理・生化学的な基礎について説明する。そのうえで、生活習慣病予防・改善のための食生活および高齢者や病気に罹患した患者の臨床栄養管理について理解し、それを説明できるよう促す。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

対面講義、Zoomによるオンラン講義及びオンデマンド講義を併用し、かつLMSを利用して講義を行なった。パワーポイントを用いてスライドに写真や図を盛り込んだり、動画を利用したりして複雑な体内代謝や具体的な臨床栄養(栄養管理法や食事療法、非経口栄養法など)について、できるだけ解りやすく解説した。Zoomによるオンラン講義では、適宜チャットを利用して学生の理解度等の確認を行なった。ラインアプリを利用して学生と双方で連絡し、講義内容についての質問や感想などは迅速丁寧に回答し理解の補完に努めた。

①担当科目名(単位数) 主たる配当年次等 産業保健論(1単位)3年生 オムニバス講義

②内容・ねらい

産業保健の歴史と現状および労働衛生管理について概説し、働く人を対象とする、産業保健師の役割を示す。事業所や労働衛生機関などの産業現場における産業保健師の活動と、事業主や 従事者との関わりについて説明する。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

対面講義、Zoomによるオンラン講義及びオンデマンド講義を併用し、かつLMSを利用して講義を行なった。産業保健師の活動について、さまざまな現場での具体的事例や近年の身近なトピックなどを取り上げるなどして産業保健についての関心を喚起した。Zoomによるオンラン講義では、適宜チャットを利用して学生の理解度等の確認を行なった。ラインアプリを利用して学生と双方で連絡し、講義内容についての質問や感想などは迅速丁寧に回答し理解の補完に努めた。

①担当科目名(単位数) 主たる配当年次等

公衆衛生学(2単位)1年生

②内容・ねらい

物理・化学・生物学的環境および社会環境の健康への影響について概説する。疾病予防、健康保持・増進、健康寿命の延伸を目指した組織だった社会を通じた保健活動や個人、家族さらには地域、国レベルまでのさまざまな健康支援の在り方について説明する。ライフステージおよび地域、学校、職域といった生活の場で行われている公衆衛生活動について説明する。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

対面講義、Zoomによるオンラン講義及びオンデマンド講義を併用し、かつLMSを利用して講義を行なった。公衆衛生活動の意義と社会・経済・行政との関りについて資料や新聞記事等から、特に身近な福井県の話題を多く取り上げるなどして具体的関心を喚起する。内外の公衆衛生活動について具体的事例を提示し、グローバルな視点で現状や課題についても理解を深め、公衆衛生マインドの涵養を促した。Zoomによるオンラン講義では、適宜チャットを利用して学生の理解度等の確認を行なった。ラインアプリを利用して学生と双方で連絡し、講義内容についての質問や感想などは迅速丁寧に回答し理解の補完に努めた。

①担当科目名(単位数) 主たる配当年次等 疫学(2単位)2年生

②内容・ねらい

将来の保健師、看護師としての実践活動、教育研究活動の場面で健康事象(疾病など)と、それらの関連要因を明らかにするために疫学の基礎を解説する。疫学的な考え方を涵養する。科学的方法論としての疫学の概念・方法を説明し、疫学により示される科学的エビデンスや研究方法論を看護や保健活動の場に活かす可能性について理解を促す。様々な疫学研究方法の特徴を解説する。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

対面講義、Zoomによるオンラン講義及びオンデマンド講義を併用し、かつLMSを利用して講義を行なった。集団の健康状態を把握することの重要性と疫学で用いられる基本的な指標の理解を促した。演習として計算問題を盛り込み理解を補完した。Zoomによるオンラン講義では、適宜チャットを利用して学生の理解度等の確認を行なった。ラインアプリを利用して学生と双方で連絡し、講義内容についての質問や感想などは迅速丁寧に回答し理解の補完に努めた。

①担当科目名(単位数) 主たる配当年次等

保健統計学(2単位)2年生

②内容・ねらい

集団における健康科学の方法論について概説する。科学論の基礎、確率、統計、疫学、人口統計について説明し、記述統計、統計的推論の手法を解説する。人口・疾病統計や臨床研究など、看護や保健活動の場でどうのように活かすかを教授する。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

対面講義、Zoomによるオンラン講義及びオンデマンド講義を併用し、かつLMSを利用して講義を行なった。集団の健康状態を把握することの重要性と保健統計で用いられる基本的な指標の理解を促し、保健統計データをどうのように活かすかを教授した。Zoomによるオンラン講義では、適宜チャットを利用して学生の理解度等の確認を行なった。ラインアプリを利用して学生と双方で連絡し、講義内容についての質問や感想などは迅速丁寧に回答し理解の補完に努めた。

①担当科目名(単位数) 主たる配当年次等

導入ゼミ (1単位) 1年生

②内容・ねらい

「福井県の健康長寿」を題材に自分の興味や関心のあるものからテーマを設定し、「健康長寿」について理解を促し探索させる。情報収集、プレゼンテーション、レポート作成の基本的技術を養成する。また、発表と討論を行い論理的思考力、傾聴能力、意思伝達能力を養成する。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

対面講義、Zoomによるオンラン講義及びオンデマンド講義を併用し、かつLMSを利用して講義を行なった。学生が「自ら学び、考え、行動する力」を養えるように「受動型学習」から「能動型学習」を重視した。Zoomによるオンラン講義では、適宜チャットを利用して学生の理解度等の確認を行なった。ラインアプリを利用して学生と双方で連絡し、講義内容についての質問や感想などは迅速丁寧に回答し理解の補完に努めた。

①担当科目名(単位数) 主たる配当年次等

教養特講 D:福井を学ぶ(2単位)1~3年生 オムニバス講義

②内容・ねらい

福井県立大学で学び始めた新入生が、福井という地域の特性について幅広く学べるよう、福井が有する多様な資源を世界的な視点のなかに位置づけ、地域における大学が果たす役割を理解させる。自らが位置する福井という地域の基本的知識を習得させ、地域に関連した研究関心の基盤を形成させるとともに、グローバル化した多様な価値を適切に評価しうる自己の立脚点を確立させる。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

Zoomによるオンラン講義とLMSを利用して講義を行なった。

「福井県の健康長寿」をテーマに取り上げ、福井の特性(県民性、社会性など)の理解を促し、自らの属する地域社会と県民の健康について涵養できることを目指した。

(2)その他の教育活動

学年担任(2年生)

4. 研究業績

4.		
(1)研究業績の公表		
①著書		
	ľ	本】
		/ I · A
G T FITHINGS (ILLEGATOR)		
	,	1.3
		本】
③その他論文(査読なし)		
	ľ	本】
地域(都市部、山間部、沿岸部)に在住する高齢者のフレイルと身体活動との関係、	第 79	回日
本公衆衛生学会総会(2020年10月21日),共同報告者無		
	[1	件】
⑤その他の公表実績		
	ľ	本】
	<u> </u>	半】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績		
2018 年度~2020 年度 学内戦略的課題研究推進支援. 研究分担者		
2019 年度~2021 年度 学内戦略的課題研究推進支援. 研究分担者		
2019 年度~2020 年度 看護福祉学部 [KF 枠研究費]		
(3)特許等取得		
(4)学会活動等		
学会活動		
日本衛生学会,日本産業衛生学会,日本公衆衛生学会,運動疫学会,日本体力医学会,		
日本産業衛生学会北陸甲信越地方会,産業保健人間工学学会,北陸公衆衛生学会,		
日本体力医学会北陸地方会		
研究会活動		
福井スポーツ健康科学研究会		
福井体育研究会		

5. 地域·社会貢献活動

①国・地方公共団体等の委員会・審議会

福井県健康づくり推進協議会(健康運動分野に関する委員, 2002 年~現在に至る)

「健康ふくい 21」計画推進部会(健康運動分野に関する委員, 2003 年~現在に至る)

福井県スポーツ推進審議会(健康運動分野に関する委員,2004年~現在に至る)

福井県健康管理協会評議員会評議(健康運動分野に関する委員,2006年~現在に至る)

福井市建築審査会(公衆衛生学分野に関する委員,2016年~現在に至る)

②国・地方公共団体等の調査受託等

該当なし

③ (公益性の強い) NPO・NGO 法人への参加

NPO 法人日本健康運動指導士会:福井県支部長(単位認定健康運動指導士研修会開催、自治体主催の健康づくり事業に参画、自治体等の依頼を受け健康運動指導士の派遣等,1998年~現在に至る)

- ④ (兼業規程で業務と見なされる範囲内での) 企業等での活動
- 三崎医院(福井市;患者への運動処方,カウンセリングおよび運動指導を週1回,2003年~現在に至る)
- ⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等

福井大学医学部(協力研究員, 2013年~現在に至る)

⑥公開講座・オープンカレッジの開講

福井県立大学「オープンキャンパスオンライン 2020:模擬講義」(2020年7月19日)

(7)社会人・高校生向けの講座

福井県立金津高等学校IPT (課題探究, 2020年11月20)

⑧その他

該当なし

6. 大学運営への参画

/ \		
(1)	補職	
\ I	ит при	1

(2)委員会・チーム活動

学科カリキュラム検討委員会(2017年~現在に至る)

入試制度検討委員会(2018年~現在に至る)

学科入試制度検討 WG (2018年~現在に至る)

(3)学内行事への参加

入試関連業務に関わる行事(特別選抜・推薦入試, 2020年11月21日)

(4)その他、自発的活動など